

広報 しんじょうの

水道・下水道

vol.3

令和8年1月



【給水車】

給水車は、災害や事故などで断水が発生したとき、飲料水や生活用水を避難所などで配布します。

東日本大震災、能登半島地震など災害の際は、被災地に給水車や職員を派遣し、応急給水の支援活動を行います。



【令和4年3月 福島県沖地震
宮城県大崎市給水支援活動】



令和6年度の
決算状況を
お知らせします！

令和6年度決算

- ※1 長期前受金戻入…資産の取得時に交付された補助金等を、減価償却費と同様に収益化した現金を伴わない帳簿上の収益
- ※2 減価償却費…資産の取得費用を耐用年数に応じて費用化したもので現金を伴わない帳簿上の支出
- ※3 内部留保資金…減価償却費などの現金支出を伴わない費用により資本的収支の不足額を補てんするお金

水道事業の経営状況

先行き不安

水道料金は
どんなことに
使われているの？



収益的収支(税抜)

令和6年度は2,564万円の黒字でした。
今後は、人口減少などにより、水道料金収入は減少する見通しです。

水道料金

7億9,553万円

※1長期前受金戻入

1億4,109万円

その他の収入

3,934万円

収入

9億7,596万円

9億5,032万円

支出

純利益

2,564万円

維持管理費など

2億4,340万円

施設の修繕費、動力費、委託料、人件費など

企業債(借入金)の支払利息

860万円

※2減価償却費

4億253万円

県水の購入費

2億9,579万円

資本的収支(税込)

施設や設備の更新を順次実施しています。
将来の水道施設の大規模更新・耐震化に向け、備えています。

工事負担金

4,786万円

出資金

2,721万円

他会計負担金

4,875万円

企業債(借入金)の返済

1億2,643万円

収入

1億2,382万円

4億1,840万円

支出

不足分

(※3内部留保資金等による補てん)

2億9,458万円

建設改良費

(施設を整備するための費用)

2億9,197万円

設備の更新や老朽管の布設替など





「**収益的収支**」は、事業の「日常的なお金の流れ」を表し、日常の経営状況を把握することができます。

家庭に例えると、「毎月の家計簿」に近く、給与収入から食費や光熱水費などの日常生活にかかる費用を支払うイメージです。

「**資本的収支**」は、事業の「長期的な設備投資と資金調達の流れ」を表し、将来の投資と資金繰りを管理することができます。

家庭で言えば、「マイホームの購入」や「リフォーム資金」のような、一度に大きな支出が発生し、ローンや貯金、補助金でまかなうイメージです。



下水道事業の経営状況



収益的収支(税抜)

令和6年度は2,570万円(公共2,348万円、農業集落排水事業222万円)の黒字でした。下水道使用料等が減少しており、設備の更新を先送りになっています。

一般会計補助金
2億6,829万円

下水道使用料等
3億5,187万円

純利益
2,570万円

維持管理費など
2億2,628万円
施設の修繕費、動力費、委託料、人件費など

企業債(借入金)の支払利息
5,741万円

収入

9億2,125万円

8億9,555万円

支出

その他
753万円

※1長期前受金戻入
2億8,962万円

その他の収入
1,147万円

※2減価償却費
5億3,994万円

最上圏域下水道
共同管理協議会負担金
6,439万円

市浄化センターで鯉川村を除く最上7市町村の各処理場の
運転監視や保守点検、水質試験の共同管理を行うための費用

資本的収支(税込)

支出の約8割が企業債(借入金)の返済で占められています。下水道施設の耐震化・長寿命化工事の実施や将来の大規模更新のための準備は欠かせません。

出資金

2億4,871万円

不足分
(※3内部留保資金等による補てん)
2億6,920万円

不足分が...

収入

4億1,212万円

6億8,132万円

支出

受益者負担金・分担金
669万円

国庫補助金
6,122万円

企業債(借入金)
9,550万円

建設改良費
(施設を整備するための費用)
1億3,300万円
下水道管の布設工事や
雨水排水路整備のための設計業務など

企業債(借入金)の返済
5億4,832万円

水道も下水道も
今後のために
蓄えたいわ

各種お知らせ

水道管は寒さが苦手 / 凍結・破裂を防ぎましょう

●こんなときは、注意！

水道管は、気温がマイナス4度以下(風が当たりやすい所はマイナス1度～マイナス2度)になると凍結や破裂の恐れがあります。また、留守にしてしばらく水道を使用しないときも、凍結することがあります。

●凍ると大変！

水道水が使えなくなったり、解氷作業や修繕にお金がかかります。

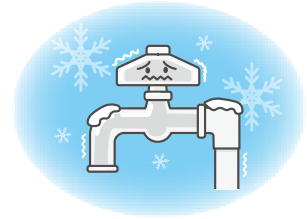
●凍結の予防策

- ・屋外に露出している水道管は保温材を巻く
- ・夜間は蛇口から少量の水を流す(バケツ等に水をため再利用しましょう。)など

凍結に備えて、水道水のくみ置きなど「水」の確保をしておきましょう！

水道管が凍結・破裂した場合は、市給水装置工事指定業者へお問い合わせください。

※工事指定店は、新庄市HPで確認できます。



上下水道事業運営審議会から「答申」がありました

令和7年11月13日「新庄市下水道事業経営戦略の中間見直し」と「下水道使用料のあり方」について、次の答申がありました。

「新庄市下水道事業経営戦略の中間見直し」

下水道事業が将来にわたり安定的に継続していけるよう、経営戦略に掲げる各種取組の検証、評価を行い、社会情勢の変化に対応した実効性のある計画となるよう見直すこと。

「下水道使用料のあり方」

汚水処理に要する経費を使用料収入で賄うことができるよう、令和11年度までの収支均衡を目指すこと。

改定率:市民生活への影響に配慮しながら18.2%を目途とすること。

改定期:令和8年11月以降とすること。

意見として…

- ・予測される人口減少や水需要を踏まえた下水道のあるべき姿の再検証、事業の最適化と効率的な運営への取組み
- ・組織力を高めるための取組み
- ・使用料改訂の重要性についてのわかりやすい説明

の要望がありました。

今後、審議会の「答申」を尊重し、事業運営してまいります。

